
第145回LC研究懇談会

日時:2000年11月8日(水) 13時~17時30分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題:アミノ酸分析技術の最新動向

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(日本ダイオネクス(株)) 臼井 睦

2. LC/MSによるアミノ酸分析の実際 (13:05~13:35)

(横河アナリティカルシステムズ(株)) 滝埜 昌彦

3. アミノ基蛍光誘導化試薬AQCアプリケーション~アミノ酸分析からキャピラリーLCによる高感度ペプチド分析まで (13:35~14:05)

(日本ウォーターズ(株)化学製品部)
佐々木 俊哉

4. HPLC用円二色性検出器を用いたD、L-アミノ酸の測定 (14:05~14:35)

(日本分光(株)第二技術部) 国広 沖之

5. イオン交換クロマトグラフィーによるアミノ酸分析の高速化について (14:35~15:05)

(日本電子(株)医用機器技術本部) 太田 洋二

6. ニンヒドリン・ポストカラム誘導体化法によるアミノ酸分析法の高感度化 (15:20~15:50)

((株)日立製作所計測グループ) 甲田 公良

7. 誘導体化を必要としない、アミノ酸の新しい高感度測定方法-HPAE-IPAD法の応用 (15:50~16:20)

(日本ダイオネクス(株)応用技術課) 渡辺 一夫

8. ポストゲノム時代に於ける高感度アミノ酸分析の役割 (16:20~17:00)

(順天堂大学医学部) 進藤 典子

9. アミノ酸分析技術の進歩と将来 (17:00~17:30)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日)

受付にてお支払い下さい)、学生は無料。
共催学会等:日本化学会, 日本薬学会

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後, 講師を囲んで立食パーティー形式で開催します(1号館17階大会議室)。会費 : 1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)